

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	システム更改に伴う経費		担当部局庁	大臣官房統計情報部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	情報システム課		課長 三富 則江		
会計区分	一般会計		政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(平成12年12月6日法律第144号)第20条及び第35条第2項第5号		関係する計画、通知等	・「電子政府構築計画」(平成16年6月14日一部改定 各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定)・「共通システムの見直し方針」(平成16年3月25日 行政情報システム関係課長連絡会議了承)・「情報システムに係る政府調達制度の見直しについて」(平成16年3月30日改定 情報システムに係る政府調達府省連絡会議了承)・「厚生労働省ネットワーク(共通システム)最適化計画」(平成17年5月27日厚生労働省行政情報化推進会議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「厚生労働省ネットワーク(共通システム)最適化計画」(以下「最適化計画」という。)に基づき、厚生労働省の保有する複数のネットワークについて、回線の一元化・集約化等を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本省及び地方機関が利用する共通サービス機能を厚生労働省LANシステムに構築する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等	▲ 48	▲ 30				
		計	4	165	61	25	45	
	執行額	4	116	61				
	執行率 (%)	100	70.5	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	この事業は、調達の支援を主な目的として実施するものであるため成果目標を設定していない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	工数:1,000人日		活動実績 (当初見込み)	人日	67	1,580 (1,580)	1,000 (1,000)	— (340)
			算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:24年度執行額(60,984千円) Y:24年度工数(1,000人日)				
単位当たりコスト	60,984(円/人日)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	雑役務費	25	45	調達支援等に係る経費の新規要求に伴う増				
	計	25	45					

事業所管部局による点検							
		項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	省の保有する複数のネットワークについて、回線の一元化・集約化等を図ることにより、運用の効率化等を行うために必要な事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	省の保有する複数のネットワークについて、回線の一元化・集約化等を図ることにより、運用の効率化等を行うために必要な事業であるため、国が実施すべき事業である。			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業者の選定には一般競争入札を実施することで競争性を確保している。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—				
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途に即した事業の執行を行っている。			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みに見合ったものである。			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	省内及び省外との迅速な情報連携等の基盤として活用している。			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名				
点検結果	今後の調達においても、調達の公平性・透明性を確保し、競争が働く環境整備に努めたい。						
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	本事業の必要性などの評価は概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	—						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年	2	平成23年	2	平成24年	2		

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
61百万

〔 システム更改 〕



【A. 一般競争入札】

(株)プライスウォーターハウスコーパ
ス

〔 厚生労働省ネットワークシステムの更
改に係る調達支援経費 〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)プライスウォーターハウスコーパス			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑務役費	厚生労働省ネットワークシステムの更改に係る調達支援経費	61			
計		61	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 民間会社(1社)【一般競争入札】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プライスウォーターハウス クーパーズ	厚生労働省ネットワークシステムの更改に係る調達支援経費	61	2	85.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					